

区議会議員 無所属区民派

新城せつこ

事務所：〒166-0015 杉並区成田東4-34-15昭電社ビル102 Tel.03-3315-3820

自宅：〒168-0063 杉並区和泉1-48-13 Tel.090-1500-9886

メール : gosochoro2@brown.plala.or.jp HPからブログをみることができます

困ったときに一人にしません

和泉学園・浜田山・高井戸の学童クラブ待機児童解消を

9月11日から第3回定例会が始まりました。9月末から決算委員会に入り、10月13日までの33日間の日程です。来年度の予算に反映させる重要な過程で、この間いただいた要望や課題を、一般質問や決算審議で取り上げ、実現をめざします。

無所属区民派からは、新城せつこ議員が一般質問に立ち、①区長の歴史認識、②介護保険制度、③高齢障がい者の支援、④学童クラブの待機児童問題、⑤外環道について質問しました。

今年4月、学童クラブの待機児童が大幅に増え、浜田山・高井戸・和泉地域では、2年・3年生に入れない児童が出ました。保護者から不安の声が寄せられました。当面の緊急対策と、来年度に向けて抜本的対策を求め、区の積極的姿勢を確認できました。

低学年の待機児童は早急に解消を

保育園に続き学童クラブの需要が増え、登録児童数は2012年度3,207人から今年度4,172人と965人増えています。全体では受け入れ人数が登録人数を上回りながらも、地域によっては待機児童が生まれ、12年度44人、昨年度は84人と年々増加、今年4月は199人と2.4倍に膨れ上がりました。3年生が72人と4年生が82人で、待機児童の8割を占めています。

和泉学園では2年生に1人、3年生が5人の待機児童があり、浜田山では2年生に2人、3年生15人、高井戸でも3年生に10人出ています。

国基準上回る学童クラブの質維持を

児童館の直接来館制度とランドセル来館が待機児童の受け皿になり、1,271名の登録者のなかには、待機児童の6割が利用しています。開園時間が10時の児童館で、夏休み中の朝の学童クラブ待機児童受け入れは困難です。杉並区の学童クラブは高度成長期に女性の就労が進み学校から帰っても親がいないため鍵を持たされたいわゆる「かぎっ子」対策とし

て始まり、児童館で実施され実績を上げてきました。2014年度国のガイドラインが改定され示された指針は、設備や職員体制など十分とは言えません。区としてこれまで通り、職員体制など国以上の水準で運営していくことを求めたところ、姿勢が確認できました。また学童クラブは、障害児の受け入れの実績があり、障がい者差別解消法の実施に伴い、職員体制と受け入れの拡大を確認しました。

抜本的な対策と年内に保護者説明を

11月に募集があり、結果が2月にしかわからない状況で、保護者に不安を与えています。来年度に向けた抜本的対策と、保護者の安心を得るために年内の説明を求めました。



3年生に待機児童が多数発生した浜田山児童館に、浜田山小内の第2学童クラブの新設を要望中

気になる！介護保険改定(一般質問から)

介護保険制度が改定され、来年から現役並み世帯の利用料3割自己負担などが始まります。すでに2割負担（1月現在6,090人）の中には特養入所世帯で、負担増で介護を受けられない事例がでています。44,000円の利用料上限額制度で影響はないとの答弁に、検証と必要な対策を求めました。

区は、第7期介護保険事業計画を策定します。今後、12月パブリックコメント、1月に介護保険運営協議会で議論、3月に事業計画を決定するスケジュールです。

国は、自立支援や介護予防などで成果を上げている自治体を評価し、国からの交付金を増額する「財政的インセンティブ」を導入する方針。要介護認定率が全国平均の半分以下の和光市が注目されています。介護予防の推進で重度化を防ぎ、高齢者が元気に過ごせるようになることは重要ですが、要介護認定率を下げるのが自己目的化されれば問題です。区も「認定率を下げることを自己目的化することは、介護保険の理念に反する」と答弁。今後も、介護職場の処遇改善などを引き続き、課題にします。



“9月18日、代々木公園で行われた「さようなら原発1000万人集会」に参加。たんぼぼ舎と反原発自治体議員・市民連盟のブース前で。

くらし・労働・法律相談会

9月29日（金）午後6時半～8時半
阿佐谷地域センター第3集会室

担当：萱野一樹 弁護士

ご相談は無料です。お電話いただければ、ご希望の相談時間をお決めになれます。

緊急の時は090-1500-9886まで

**【関東大震災時の朝鮮人等の虐殺事件について】
過去の過ちに学び、後世に伝えます**

9月1日「関東大震災朝鮮人犠牲者慰霊式」に、歴代都知事が送っていた式辞を小池知事がとりやめました。朝鮮人民共和国のミサイル問題を背景に、朝鮮人に対する差別意識が助長されつつあります。歴史に学び、教訓とするために、区長の歴史認識を質し、以下の区長答弁を得ました。

『この事件は、関東大震災時に朝鮮人が武装し、あるいは放火するといった流言を背景に、住民の自警団や軍隊、警察の一部により朝鮮人等への殺傷事件が生じたもので、内閣府が所管する中央防災会議の報告書にもこのような事実が記載されている。虐殺された人数等については、様々なご議論があると承知しているが、私も、朝鮮人に対する虐殺事件が起こったという事実は、中央防災会議の報告書と同様の認識をもっている。自然災害がこれほどの規模で人為的な殺傷行為を誘発した例は、日本の災害史上なかったものと受け止めている。…私たちは、大規模災害時におけるパニック状況下では、情報不足や流言によって、想像もつかないような悲惨な状況を生み出しかねないことを、この事件の教訓としてしっかりと学び、2度とあのような悲惨な出来事を繰り返すことがないように、この事実を直視し、後世に継承していくことこそが大切であると考えている』。

第3回定例会・質問日程

9月21日10時 文教委員会質問
9月25日10時 災害対策特別委員会質問
9月29日～10月11日 決算特別委員会
10月12日10時 意見開陳(けしば議員)



9月の活動日誌																	
18日	17日	16日	15日	13日	11日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	1日				
保健福祉委員会質問手伝い	さよなら原発代々木公園集会	NPO法人パンフ作成	朝鮮第9初級学校支援児童見守り	文教委員会正副委員長打合せ	朝鮮高校無償化裁判報告会	新堀一般質問	第3回定例会開会	反原発自治体議員ニュース発行作業	福祉事務所長塾代助成聞き取り	質問ヒヤリング	質問項目提出／介護事業所紹介	予算課長から補正予算説明	介護認定調査相談	馬橋親交会祭り鉢洗い（反省会）	一般質問準備・資料等調査	事務所加盟馬橋親交会祭り準備	9月の活動日誌